

平成 21 年度第 2 回北九州市高齢者介護の質の向上委員会 会議要旨

1 開催日時

平成 21 年 8 月 10 日 (月) 19:00 ~ 20:30

2 開催場所

北九州市立商工貿易会館 多目的ホール

3 出席者等

(1) 委員

伊藤委員、今村委員、緒方委員、小川委員、河原委員、桑原委員、小金丸委員、下河辺委員、下田委員、白木委員、白水委員、末次委員、田中(秋)委員、田中(徹)委員、中野委員、中村(貴)委員、中村(久)委員、野村委員、箱崎委員、橋元委員、舟谷委員、丸林委員、村上委員、渡邊委員

欠席者 井田委員、大中委員、座小田委員

(2) 事務局

保健福祉局長、地域支援部長、介護保険・健康づくり担当部長、計画調整担当課長、高齢者支援課長、いのちをつなぐネットワーク推進課長、健康づくり担当課長、精神保健福祉センター所長、障害福祉センター所長、介護保険課長、事業者支援担当課長

4 会議内容

(1) 各専門委員会の副専門委員長について

(2) 各専門委員会からの報告

ア 地域密着型専門委員会

・高齢者福祉施設の整備について

イ 尊厳擁護専門委員会

ウ 認知症対策専門委員会

・認知症に関する意識及び実態調査の報告について

エ 地域包括支援センター専門委員会

オ 介護予防専門委員会

(3) その他

ア 国の動きについて

イ 平成 21 年度地域支援事業について

5 会議経過及び主な発言内容

(1) 各専門委員会の副専門委員長について・・・資料 1

名簿により各専門委員会の副委員長選任について報告した。

(2) 各専門委員会からの報告

ア 地域密着型専門委員会・・・資料2-1

・高齢者福祉施設の整備について・・・資料2-2

【発言趣旨】

専門委員長：今回、国の経済危機対策として整備する上乘せ分は、3点セットの複合型特別養護老人ホーム（地域密着型特別養護老人ホーム、グループホーム、小規模多機能型居宅介護）の整備を進め、北九州市らしい特徴を出して欲しい。

イ 尊厳擁護専門委員会・・・資料3

【発言趣旨】

委員：誤嚥の事故件数が増加しているが、誤嚥事故を減らすためには、様々な職種の連携が必要である。

委員：介護技術の未熟性が影響していることも考えられるので、経験年数を加えた事故の要因分析も必要ではないか。

委員：介護サービス相談員派遣事業の相談内容等の情報を、現場に提供し共有することで、質の高いサービスを提供していくことにつながるのではないか。

事務局：いただいた意見等を踏まえ、事故の要因分析や対応策等について、専門委員会で議論し検討していきたい。

ウ 認知症対策専門委員会・・・資料4-1

・認知症に関する意識及び実態調査の報告について・・・資料4-2

【発言趣旨】

委員：認知症コールセンター等、認知症について気軽に相談できる窓口を設置してほしい。また、独居の方への見守り等の支援も必要ではないか。

事務局：今後の認知症関連施策の進め方等については、専門委員会で意見を聞きながら検討していきたい。

エ 地域包括支援センター専門委員会・・・資料5

【発言趣旨】

委員：人事異動等により、相談への対応が十分できていないのではないかと。電話相談の件数が増えているが、窓口対応もあり、センターの人員体制を充実できないのか。

委員長：今年度から、業務量が多いセンターは職員数を増やすなど、できることから対応している。

オ 介護予防専門委員会・・・資料6

(3) その他

ア 国の動きについて・・・資料7、資料8

イ 平成21年度地域支援事業について・・・資料9